



ブラジル 『天使が舞い降りる村のカノア保育園』

21歳女性保育士が漁村に保育園を作った！～ 出版記念トークイベント

横浜市に事務所をおき、ブラジル(東北部の小さな漁村)で幼児教育を基盤として、教育を通じた活動を行っている「NPO 法人 光の子どもたちの会」の代表をしている、鈴木真由美(横浜市出身、保育士)が、この度「ブラジル 天使が舞い降りる村」という本を出版し、その記念となるトークイベントをオンラインで開催することとなりました。

ブラジル北東部、セアラ州にある、貧しい海辺の村で幼児教育に奮闘し、今や地元の住民にとって無くてはならない存在となった“光の子どもたちの会”の活動。代表の鈴木真由美さんによる活動の記録と現地の文化や生活がまとめられた本が出版されました。

活動の目的だけでなく、自分の夢を追い、言葉や異文化の壁を乗り越え、卒業生が教師として戻ってくる、そんな循環にまで育てあげた行動力には感嘆させられます。

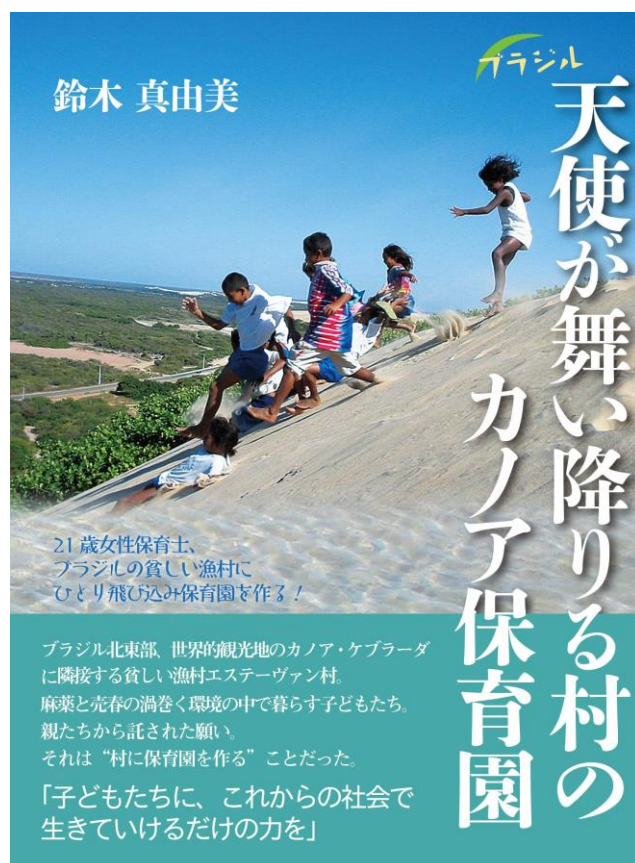
初著作の出版を記念してのトークイベントは、

2020年9月5日(土)14:00～16:00

オンラインにて開催いたします。

海外で暮らしてみたい/暮らしている方、2国間で子育てをしている方、今の状況に閉塞感を感じている方、自分の夢を実現させたい方、夢の途中で困難に直面している方…、それぞれ励まされる点がある事と思います。

また、ブラジルよく知られているリオやサンパウロとはまた違う文化や暮らしに興味がある方にもお勧めです。



ブラジル北東部、世界的観光地のカノア・ケブラーダに隣接する貧しい漁村エステーヴァン村。麻薬と売春の渦巻く環境の中で暮らす子どもたち。親たちから託された願い。それは“村に保育園を作る”ことだった。

「子どもたちに、これからの社会で生きていけるだけの力を」

イベントに関するお問い合わせ

Barzinho Aparecida 藤本くみ(NPO 法人光の子どもたちの会、理事)

メール: kummy.triangueira@gmail.com

URL: <http://criancasdeluz.blog.jp/>